



2025年3月24日

各 位

会社名 株式会社Q P S 研究所
代表者名 代表取締役社長 CEO 大西 俊輔
(コード：5595、東証グロース市場)
問い合わせ先 管理部 IR担当
(E-mail：ir@i-qps.com)

(開示事項の経過) 大型案件の採択に関するお知らせ

当社は、2024年11月29日付「大型案件の採択に関するお知らせ」において、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（以下、JAXA）によって公募された、宇宙戦略基金事業に採択された旨をお知らせしました。この度、当社はJAXAより交付決定通知書を受領し、詳細の公表が可能になりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 採択内容

募集機関 : JAXA
技術開発テーマ名 : 商業衛星コンステレーション構築加速化
技術開発課題の名称 : 小型SAR衛星の量産加速化及び競争優位性確立に向けた機能強化
支援上限額* : 非公表
実施期間 : 2029年3月まで
当初交付金額 : 8,465百万円（以降の交付金額は未確定）
当初交付対象期間 : 2027年3月まで（以降の交付対象期間は未確定）

*支援上限額は、実施期間全体を通して当社が募集機関より支援を受けられる上限額であり、募集機関の要請により金額は非公表です。この度、交付決定がなされた当初交付金額は、2026年度に設けられたステージゲート評価が終了する年度の末日までの経費を対象としております。以降の申請金額を合わせた最終的な支援額は、今後複数回にわたって実施される見込みのステージゲート評価等により、増減する場合があります。

(1) 宇宙戦略基金について

2024年3月、JAXAは宇宙分野の資金配分機関として新たに基金を設置しました。宇宙技術戦略で抽出された技術項目を参照しつつ技術開発テーマを設定し、複数年度（最大10年）にわたって大胆に技術開発に取り組めるよう、JAXAはスタートアップをはじめとする民間企業や大学等を支援します。

上述の方針に基づいて設定された技術開発テーマのうち、当社は「商業衛星コンステレーション構築加速化」の公募に対して、技術開発課題「小型SAR衛星の量産加速化及び競争優位性確立に向けた機能強化」を提案し、採択されました。

(2) 技術開発課題の概要について

当社が事業として取り組んでいる、迅速に高精細な観測を行える小型SAR衛星コンステレーションにおいて、早期に36機体制を目指して構築の加速化を実現するために年間6機以上の信頼性の高い量産体制を実現します。

さらに、プロダクトの競争力強化のために1機あたりの製造コスト及び運用コスト最小化を進めることに加え、刈幅拡大や高分解能化等を適用した次世代機への衛星システムのスペックアップを実現します。

また、サービスの迅速性の価値を高めるために、観測リクエストを受けてからプロダクト提供までのレイテンシの短縮を進め、小型SAR衛星コンステレーションによる多頻度観測を活かしたプロダクト高度化を実現します。

2. 今後の見通し

本件による収益は補助金としての性質が強く、補助金収入は補助対象費用の発生からタイムラグを経て、営業外収益として認識される可能性が高いことから、今期2025年5月期の当社業績に与える影響は軽微に留まる見込みです。

なお、2024年7月に公表された公募要領において、中小企業・スタートアップに対する支援額は、1件あたり67億～533億円と定められております。当社に通知された支援上限額は、公募要領の内容と相違なく、当初交付金額は、実施期間（2029年3月まで）に対して比例案分した金額ではございません。

当社は、QPS-SAR18号機までの製造等に着手しており、当初交付対象期間（2027年3月まで）に必要な資金の大半は、自己資金により充当する計画です。当初交付金額は、主にQPS-SAR22号機以降の製造及び打上げ費用等に充当する予定であり、以降の交付金額はステージゲート評価の都度、申請内容と共に見直し等の上、決定されます。

本件は、当社の財務基盤を強固にするものであると同時に、今後の事業計画において主要な業績指標に大きく影響を与える可能性があり、投資判断に与える影響や財務会計及び税務会計上の観点等から、慎重に検討を続けております。今後、開示すべき事象が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

以上